



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣
幹事 山下 喜一
SAA 富岡 幸広
会報小委員長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2450 回 例会 平成 24 年 4 月 4 日 (水・晴)

2011 ~ 2012 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

青木山寶徳院 副住職

生駒 智 祐 様

君が代

ロータリー綱領 赤津会長

—今月はロータリー雑誌月間です—

◎会長報告 - 赤津善宣会長

皆さん、今日は。まず、最初に本日のお客様をご紹介します。青木山寶徳院副住職生駒智祐様です。後程「灯について」卓話を戴くことになっておりますので宜しくお願いします。また、今日は猪俣会員の後任で新会員になられます福島民報勿来支局長中村昌宏様も出席されておりますのでご紹介と 7 つ道具をお渡し致します。それから 4 月 1 日 (日) 第 2 回幸せのクローバー運動の種蒔きを午前 9 時 30 分より岩間地区において、ミツバチプロジェクト、磐城農業高等学校、当クラブ他関係各位の皆様参加の下、好天候に恵まれかなりの面積に午前中で蒔く事が出来ました。皆さんご苦労様でした。3 月 4 日に第 1 回目を蒔きましたがそのまいた種の芽が出初めたのを確認することが出来ました。後程環境保全委員会渡辺勉小委員長から状況についてご報告があらうかと思ひます。それから皆さんに 4 月のプログラムが届いていると思ひますが、本日は外部卓話になります。来週 11 日は短時間での例会後移動し社会奉仕委員会担当による清掃活動が勿来の関周辺で行われます。15 日 (日) は観桜家族例会が親睦活動委員会の担当で予定されており宮城方面へ向かいます。17 日 (火) には東京江戸川 RC との親睦ゴルフ大会が予定されており、18 日は振替休会になります。また 25 日は会員卓話が入っておりますので皆さんのスケジュール宜しくお願いします。私からは以上です。

◎幹事報告 - 山下喜一幹事

・昨日会員の皆様に 5 月 13 日 (日) にスパリゾートハワイアンズラピータで開催されます IM についてファックスしております。締切を 4 月 18

日 (水) としていますが当日振替休会ですので今日か次回迄に出欠の連絡をお願いします。バスの時間については後日連絡します。

・只今回覧してありますのはいわき常磐、いわき平、いわき小名浜、いわき平中央各ロータリークラブの 4 月のプログラムです。また、いわき小名浜、東京江戸川各ロータリークラブの週報も回覧中です。

・高萩会長エレクトにポール・ハリス・フェローのピンが届いております。赤津会長より授与して頂きますので前の方へどうぞ。

・本日例会終了後理事会がありますので理事者の皆さんの出席をお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 峯口小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇親睦活動委員会 - 荒川義次小委員長

親睦活動委員会より今月が誕生日の方へ誕生日祝いを差し上げます。金成通之会員、渡辺勉会員、鈴木正人会員前の方へどうぞ。おめでとうございました。

◇スマイルボックス委員会 - 佐久間小委員長

・青木山寶徳院副住職生駒智祐様の卓話を歓迎を祝して。高瀬、川中、鈴木 (雅)、秋山、富澤、佐藤 (英)、嵐、鈴木 (修)、高木、児玉、後藤、矢代、押田、荒川 (義)、佐久間、富岡、小熊、濱沖、佐藤 (政)、峯口、榎田各会員及び渡邊公平ガバナーノミニ、赤津会長、高萩会長エレクト、山下幹事

・本日は副住職生駒智祐がお世話になります。

生駒副会長

・誕生祝いありがとうございました。

鈴木、渡辺 (勉)、金成各会員

・鈴木雅之会員のいわき民報「くらしの随筆」掲載を楽しみにしています。

赤津会長、生駒副会長

・幸せのクローバー運動ご参加ありがとうございました。

鈴木 (雅)、荒川 (清) 各会員

・本日早退ごめんなさい。

金成会員

・前回例会休んでごめんなさい。

川口会員

◇環境保全委員会 - 渡辺勉小委員長

皆さん、今日は。4 月 1 日に行われた第 2 回の種蒔きに参加された皆さんご苦労様でした。第 1 回の種蒔きよりも大勢のご参加ありがとうございました。お蔭様で予定していた広範囲の場所へ種を蒔くことが出来ました。第 1 回の種蒔きの種も芽を出していることを確認することが出来ました。今後のスケジュールについてはまたご報告したいと思います。

◎ゲスト卓話 青木山寶徳院 副住職

生駒 智祐 様



「灯 (あかり) について」 「灯りの歴史」

人類史上、最も重要なものの一つが、「火」の発見です。人々は「火」の発見によってと闇を照らす「あかり」を手に入れました。テレビの時代劇で、ろうそくを灯した室内の光景が映し出されることがあります。撮影なので、ライトが当たって明るくなっていますが、本当は、もっとずっと暗いものです。電灯のなかった昔は、ろうそくなどの細かい炎が、唯一の「あかり」だったのです。今、ろうそくといえば、お仏壇のお灯明が身近なものでしょうか。また、結婚式ではキャンドルサービスなどで、ろうそくが使われています。最近ではろうそくの灯り 1 / f の揺らぎ、癒しの揺らぎといわれ、アロマセラピーを楽しむときに灯す人もいます。ろうそく (キャンドル) は身近にあります。

しかし、ろうそくがかつての暮らしの中で、闇夜を照らすための貴重な照明であったということは、次代とともに忘れ去られています。

長い時を経る中で、たいまつや篝火からランプ、ガス灯り、そして現代の電気の「あかり」に至るまで、1879 年にトーマス・エジソンによって電球が発明され、日本でも明治時代後半には各地に電灯が普及していきます。そしてそれ以降あかりの道具は、新しい照明器具に代わり、それまでの道具は用無しになってしまったのです。

私たちは現在、なんの不便もなく夜の暮らしを送っています。しかし、今日の照明 (あかり) に至るまでには、長い道程がありました。太古の昔、私たちの祖先は、一本の木の枝を燃やした灯火によって、夜の闇の中を動き回ることを知ったといわれます。そして次第に、さまざまな専用の道具や燃料が、日々の経験の中から生み出されていきました。

このように「あかり」は、より便利により明るくと求めて止まらなかった人々の知恵と工夫を見ることが出来ます。「あかり」は常に人々の生活と共にあり、人々の暮らしと未来を明るく照らし出してきました。

「希望の灯り」

阪神淡路大震災の犠牲となった人々の鎮魂と慰霊、神戸の復興と再生を願って 2000 年 1 月 17 日から灯されている「1.17 希望の灯り」は、何故「希望の灯り」と名付けられたか。「鎮魂の灯り」でも「慰霊の灯り」でも良かったのです。

しかし、あえて「希望の灯り」と名付けられました。それは、震災で奪われたものは大きく、その悲しみも、大きなものでした。しかし、震災により改めて知った事や感じたこと…人々のやさしさ、おもしろい、絆、仲間。これらが復興への勇気や後押しとなり、そして、再起、希望へとつながったのです。『人々のやさしさ、おもしろい、絆、仲間』というものは、仏教でいう『慈悲』の教えです。「慈」はサンスクリットの言葉で「マイトリー」「友」「親しきもの」を意味する派生語で真実の友情、純粹の親愛の念を意味します。「悲」はサンスクリットの言葉で「カルナー」「哀憐」「同情」「やさしさ」「あわれみ」「なげき」を意味します。仏教では「マイトリー」は仏菩薩が衆生に樂を与え、「カルナー」は衆生の苦を取り除くものとされます。是を抜苦与樂といひます。「慈」は前向きの明るい希望を人々に与える励ましの感情、「悲」は人が苦しんでいるような時、そばにいて自分でも同じように心を痛める共感共苦する慰めの感情といえます。

人間は本当に生涯、悲しいものといえます。大いなる慈しみが理解できない悲しみ、人生で味わう悲しみ、人を理解できない悲しみ、相手の喜び、苦しみ、悲しみを本当に理解することは出来ません。だからこそ、哀れみ、慈しみ合い生きていかねばならないのです。

今回の東日本大震災により多くの事を考えさせられたと思ひます。もし、山中夜路で道に迷い、そこに灯りが見えたならホッと、その灯りに向かって進んでいくでしょう。「灯り」を求めて…しかし、そこには灯りという照らしてくれるものではなく、そこに抜苦与樂を施してくれる人がいると思うから、ホッとと安心するのでしょうか。火の発見により集まり、集落ができ、そこに文化と秩序が成り立ち、そして、宗教というものも発展してきました。現代は、モラルや人々の価値観も多様化し、人々の関係性も希薄なものとなりました。より便利により簡単に、煩わしいと思える事を排除してきました。また、利便性を優先することで忘れてしまったことや失われたものも多くあるのではないのでしょうか。今こそ、私自身が心の中を照らし出し、心の中の闇を照らし、真理を求め智慧を積む。法 (教え) は様々なところにさまざまな形で存在します。しかし、その根底にあるものは「慈悲」の教えというものではないのでしょうか。心の闇を照らし「きづく」ことが大事なのではないのでしょうか。私自身が自己調整し自己を管理し、自らを抛りどころとする。そして、他者をも照らす事ができるのではないのでしょうか。

灯りは様々な種類があり、同じ灯りの種類でも決して同じ大きさ明るさを保つものではありません。同じ灯りも時には消えそうになることもあります。しかし、いずれの灯りも闇を照らすものであり、抛りどころであり、私自身であり、真理を照らし出す、智慧です。

私たち一人一人が、「希望の灯り = 慈悲の灯り」なのです。

出席状況	正会員数 本日の出席率	55 名 76.47%	本日出席会員数 修正出席率	39 名 82.35%
------	----------------	----------------	------------------	----------------